

歐米幼稚園の實際

—日本幼稚園協會に於ける講演—

女子學習院教授 宇佐美ケイ

歐米幼稚園の實際に就ても話申上ぐるのであり
ますがフランスの幼稚園に就ては、すでに幼稚園
協會の機關雜誌、幼兒教育に書きましたので、そ
の方を略して申し上げやうと存じますが、併し同
誌を御読みなさらぬ方の爲めに、英・米と比較の
必要上大略申上ぐる事にいたします。

フランスと申ましても私の觀ましたのは巴里市
に止まりますが、公・私・共に可なり多數の幼稚園
がありことに公立は小學校に必ず附設されて居り
ますので巴里市だけに各區五個、各幼稚園に百二
三十名から二百名の幼兒をうけいれて居ります。
私立の方は割に少く、また一幼稚園の幼兒數も二

三十から四五十位で中流以上の家庭の子供を教育
して居ります、この點は英米とも同様と存じます
が、富裕の家庭にはナースが居りガバネスが居つ
て家庭で教育して居るのが多いのですがことにフ
ランスはそのやうで、私が參りましたのは六月上
旬でありますたが、すでに避暑に出かけた家庭が
多く、一二私立の幼稚園を訪ねましたが、餘り人
數も少しち目にかけられぬとことはられたやうな
わけでございました。師範學校の附屬、及び最も
優良と認められてゐる公立幼稚園の二三を參觀い
たしましたが、日本の現在と比較いたしましても
まだ英米と比較しても非常にちがつてゐるもの

のでありました。まづそれが智的である事、と申まして感覚練習に重きをおくといふ智育の基礎的教育といふのではなく實際に文字を教へ數觀念を與へることなのであります、保育室は全然日本の小学校教室と同じであります、先生は教壇に立つて種々教へられるのであります、その時間も、三十分位つゞきます、その教へ方は勿論幼兒の事でありますから、種々工夫された玩具によつてなされるのであります、私はその實によく工夫されたこまかい玩具、智的玩具とでも申したらよろしいやうな、それ／＼先生の心血を注がれた獨特のものを見せられましたとき、その熱心と努力そして非常な興味を持つて發揮された先生方の獨創力に深く感じさせられたのであります、その保育の根本的理論なりまた方法なり、の批判は別といたしまして、しかもそれが所謂終日保育で朝八時から午後六時半まで一人の先生が四十人位の子供を

受持つ、可なりに負擔の重い先生方によつてなされてゐる事は實に大したものだと思つたのであります、大體フランス人の勤勉であることは、他の種々の場合に感じた事であります、先生方が如何にもはちきれそうな元氣で、併も非常に質素で、白粉つけたり口べにさしたりしてゐる先生は一人も見ません、つまり氣どつて居られないのです、子供の様子は、如何にも活氣に乏しく、顔色もよくない、おとなしすぎるといふ風に見ましたが勿論家庭のよくない子供が多いのですから、それにこれは日本の大都市内の幼稚園も同様かも知りませんが、外で遊ぶといつてもアスファルトのしきつめられたせまい校庭に學校の兒童と一緒につて、すみの方で小さくなつて遊ぶ位の事であります、特に幼兒に適した遊具・運動具の備えもなく砂場さへ見なかつたのであります、この點は獨逸・伊太利・などの健康問題に就て拂はれてゐる

驚くべき注意と思ひ合せ、私共の他山の石として考慮すべき點と思ひます。

英國には六月末にまゐり、七月早々から暑中休日にならぬ先さにと、參觀を始めたのであります。が、最初に見ましたのはケント州のセブンノーランシングカレッヂの幼稚園であります。が、これは私立で約二十人の五歳六歳兒であります。極めて自由で子供の活氣があり活動的にすが、これはすつかり嬉しくなりました、巴里の子供との相違を思ひました（しかし英國でも、ロンドンカウンテカンセルの仕事になつてゐる、公立風の小學校に附屬するものは、子供の數も百人以上であります）此處の保育の實際を一日見たのですが、私立の幼稚園の實際として少し詳しく申上げて見やうと存じます、二十人が一室で先生が二人、此處は机の並べ方は學校式でありますたが極めてゆ

つくりとした並べ方の上に、自由に動かして居ります。タイムテーブルもちゃんとときまつて居りますが、フランスほどに規則的にやつて居りません、一齊ではありませんが読み書き、數へ方を教へますが、計畫的作業のやゝ完成に近づいたところで面白く見ましたが、それは先生が田舎のけしきの水彩畫を書かれて壁にはつてあり、そのけしきを砂箱に表現しやうとしてゐるのです、動物、樹木、草花などボール紙に幼兒が書きそれをさりぬいて砂の上にたててあります、勿論山も川も出来色の砂なども使つてあるのです。二三人の子供がその繼續をして居りました、手技の時間が特に面白いと思ひました、非常に眼のあらひ麻布、日本の蚊帳位のものに、麻のやうに丈夫な一種の草の纖維をそめたものでないとうをするのですが、太い針で種々模様をねぶのです、それがち母さんの買物の袋になるのやハンドバックになるものまた

自分の學校用具入れになるのなど、皆目的をきめてたゞ製作慾の満足だけにとどまらぬ大人の仕事を同じ仕事をしてゐるのですか、中には上靴をこしらへてゐる、テ・コージーといふテ・ポットの上にさめないやうにかぶせるものをこしらへるなど、種々のものを如何にもたのしそうに一心に針を運ばせてゐますが、先生は眼がまわるようにいそがしく、子供のその仕事のしぶりは見てほ々ゑましいほど大人ぽいのです、可なり充實した長い時間が續きホツとしたやうで、ランチをとります、英國では（米國獨逸もそうでしたが）十時か十一時に皆各自家から持參した少量の菓子か果物をたべます、先生方もシッテングルームに集つて紅茶一ぱい或はミルク一ぱいにビスケット一つ位たべます、これは非常によい事でリフレッシュメントとして能率をあげる大切な日課にして居ります、これは私共もまねをしてよい事だと思ひます、

そのあとでミュージックバンドを觀せて貰ひました、その時の子供の喜びやうは大したものですね、八歳になる女兒がソールジャー・バンドを指揮しましたが樂器はドラム・タンボリン・シンバル・トライアングル・ベル、ベルは四寸位の棒の兩端に小さい真鍮の鈴のついたもの先生のピアノの伴奏でしたのです、ドラム二人、タンボリン四人、シンバル二人、トライアングル四人、ベル十人位、手にいつた指揮ぶり、各樂手の注意深い態度、實に面白い、聽くものの氣持から推して樂者の満足はこの遊びでのみえられるものではないかと思はれました。唱歌も同じ子供の指揮で歌ひましたが、この仕方は是非私共も試みたらよいと思ひました。ロンドンの殆ど中心地ハイドパークの近くにあるミスローライズスクールの幼稚園を見て興味多く感じた點を申し上げます、普通ののき並の數階建の立派な建もの五歳六歳兒の組がそれで幼児二十

五人主任の先生一人に補助三人、運動場といつてはアスファルトの屋外體操場が一つあるだけ、勿論廣い體操場はあります、舊い式のタイムテープルでやつて居ります、この主任が非常にまめな活動的人らしく見えましたが、自然觀察方面に苦心して居らるゝ様を實に感服もしました、嬉しく見た事でございました、金魚、おたまじやくし、の飼つてある事は勿論、蛇の卵子が飼つてあるには驚きました、それ等の飼育箱にはこけがつき相當の食物がいれてあるところから見てたゞお義理に其處においてあるとは思はれませんでした、も一つ蟻の飼育箱を先生が見せて下さいました砂のはいつた薄べつたい極めて簡単な箱でありますが赤蟻の一家族が飼育されて居ります。卵、蛹、幼蟻、女王等立派に觀察されます、ハネーと水とを硝子板の蓋の隅から入れてやるといつて居られましたが、如何にも面白いと思ひました。案内してくれ

た英國婦人が日本へ買つて歸つては如何かと申しましたから、日本にも此種の研究されたものは澤山あると、實は餘りよく知りませんのに自尊心をきずつけられたやうな妙な氣持からそうは答へましたものゝ、これだけ努力してゐる幼稚園が東京にいくつあるか、自分など遠く及ばぬと思つて恥ぢた次第でござります。更にも一つ蛾の一種をキヤベツを與へて飼育し十個位、方錐形にした紙筒をつくりそれにいれて繭をつくらせたのがお部屋の隅の方にかけてありました。

終日保育の點からだけ見ても實に模範的になされてゐるミス、マクミランのナーセリースクトルに就て一寸申上げます、いづれまた詳しく述べられてゐる仕事の内容を書きたい思ひますが、此處はナースのトレーニングスクールが併置され一つの大きい組織をなして居りますが、預る幼児は三歳から五歳、現在三百五十人、朝七時半から午

後五時半までといふ事であります、先生も可なり多數練習生は水色の上着に水色の切で頭を掩ふて居ります、母親なり父なりに送られて来る幼兒は朝食前のも後のもあります、私は早朝参りまして、その先生方の手にうけいれられる様子から観たのであります、中には洗面うがひから髪の手いれまで先生にしていただくものがあります、さつぱりとアイロンのかゝつたガウンをさせられ同じ色のリボンまでつけていたゞく(このガウンは毎日洗たくしたものを見せられる)、一人一組のけしょう道具を持たせます櫛、歯ブラシ、顔ふき、手ふき、うがひのカップがそれ／＼印がついて一組づゝになつて居ります、おできの出来てゐる子供、耳のわるい子供、眼のわるい子供の一々の手あて朝一しきり先生は非常に多忙であります、子供は血色がよくいき／＼としてとても貧乏人の子供とは思はれません、午前中幾つかの組にわかれこそ

れ／＼仕事をいたしますが此處でもモンテツソリの玩具に種々工夫を加へた實に澤山の、子供が落ちついて机に向つて遊ぶ玩具を見ました、詳しく述べ申上ぐる時がありませんが、庭にも小鳥の行水の水いれが置いてあります。やゝ大きいのは鳩の爲め、小さいのは雀の爲め、五六羽仲よく行水してゐる鳩をながめてゐる小さい子供、のどかな風情これがロンドン貧民くつのナーセリースクールとは何としても見られませぬ、何とはなし胸一ぱいになりました、お晝の食事後、おひるぬをし二時半に起き三時一四時半まで遊戯、手技をし五時十五分から迎へに來る母親の手に渡すといふ事であります、食事のありさまその他細い點はまた申上ぐる機会があると存じます。

フロエベルエデュケーショナルインスティテュート、これは女子師範大學の練習生の爲めの學校で其處の幼稚園はまた代表的の英國で最も進歩的の

ものといはれやうと存じますが講演はいたしましたが雑誌に書きますのはこの次にさせていただきます。

る幼稚園の生活は正しく新興國の子供等といふ感じをいだかせました。

米國の事を申し上げる時間が完全になくなりましたがやはり研究的に存分にやつて居りますのは

佛國の智的であり殆ど劃一的であるのにひきかへ英國の實に個々獨自のゆき方で強い自信を持つて實際家の勵む點はさすがに英國と思はれます。

米國と存じます、實際に就ては最も多くを學びました、やはり普通は半日保育でありまして朝九時から十二時まで（冬期）その間にランチをとりますが更に今日米國全體を通して必ず十五分乃至二十分のレストタイムを置くことは、幼兒の保健上非常に必要とされて居ります、部屋を暗くし、めい／＼小さ／＼しきものゝ上にねるのですが先生の

合圖のあるまで全く無言で居らねばなりません、眼を開ぢて居ります、餘り細い感覺練習に重きをおかずごく、あらつぼく或幼稚園などごろ／＼と大きい石ころの庭で遊ばせてゐるのなどもありました、活氣があり、そしてめい／＼の充實してゐ

